

【様式】

令和7年度 学校マネジメントシート

学校名(久居高等学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校の姿		学校生活の充実に加え、進学にも就職にも対応した確かな進路保障を通じて、地域や社会に貢献する人材を育むことができる学校
(2)	育みたい資質・能力(育みたい生徒の姿) 【グラデュエーション・ポリシー】	○ 日々の授業を大切にし、学力の定着と向上に取り組む生徒[学力＝聴く力・読み取る力・考える力・書く力・話す力] ○ 基本的な生活習慣・社会規範を身につけ、責任ある行動を取ることができる生徒[自律する力] ○ 学校行事や生徒会活動、部活動など、何事にも意欲的かつ誠実に取り組むことができる生徒[やり抜く力・協働力] ○ 互いを尊重し合い、違いを認め合うことのできる心豊かな生徒[自他理解力]
	ありたい教職員の姿	○ 率先して教育活動に取り組む意欲と活力ある教職員集団 ○ 生徒が「わかる」「力がつく」を実感できる授業を実践するため、公開授業や教科内・校内での改善活動を積極的に推進する教職員集団 ○ 教育に携る者としての誇りと自覚、規範意識を持ち、生徒への深い愛情に基づく教育を実践するとともに、同僚と協働することができる教職員集団

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<生徒> 充実した授業を受けたい。活発に部活動をしたい。進路希望を実現したい。 <保護者> 安全・安心の学校生活。卒業後の進路保障。社会人として自立できる力を育ててほしい。 <地域> 公共心とマナーの育成。地域の普通科高校として信頼できる教育を推進してほしい。	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<家庭> 毅然とした生活指導を行いながらも、子どもの心に配慮した教育を行なってほしい。 子どもや学校の現状を知らせてほしい。 <中学校> 学校の様子、卒業生の近況報告、入試情報等を知らせてほしい。 <地域社会> 交通マナー、公共の場でのマナーを守らせてほしい。	<家庭> 本校教育方針への理解と協力。特に家庭でのしつけの部分強化してほしい。 <中学校> 基礎学力の定着。連携を密にとりながら信頼関係を構築していきたい。 <地域社会> 本校の教育活動を理解し、協力していただきたい。
(3) 前年度の学校関係者評価など	○ 遅刻や忘れ物等について、基本的な生活習慣を確立し自律にむけて指導していく。 ○ 基礎学力の定着について、家庭学習を習慣にし、毎日の授業を大切にするような環境づくりを進める。 ○ 生徒の学校生活についてのアンケートより、満足度が高いことがわかったことから、引き続き生徒一人ひとりを大切にした教育を行っていく。	

(4)現状と課題	教育活動	○ 教科学習に対し苦手意識が強い生徒や目標達成に向け地道な努力を重ねることが苦手な生徒に、自ら学ぶ意欲を育てるための授業改善・授業力の向上が必要である。 ○ 基本的な生活習慣が身についていない生徒に、ルールを守ることの大切さを伝えるとともに、生徒自身のルールメイク意識の向上を図ることで、規範意識を育てることが必要である。 ○ 多様な生徒への対応が求められる中、学校生活や授業を通して生徒理解を深めるとともに、大学や関係機関の協力を得ながら、生徒の進路選択、進路実現に向けた支援を充実させる必要がある。
	学校運営等	○ 進学にも就職にも対応できる進路多様校としての久居高校の魅力が中学生や保護者に伝わるよう、普段の学校生活や進路実現に向けた教育活動について、理解を深めていただけるような情報発信に力を入れる必要がある。 ○ 地域から信頼される学校をめざし、学校関係者評価委員会やPTAの意見を学校運営に生かすことをはじめ、校外とのコミュニケーションを活性化させる必要がある。 ○ 行事や業務の精選・重点化をはかることで、教職員の多忙感を解消し、生徒と向き合う時間を確保することにより、働きやすい職場・働きがいのある職場づくりに取り組む必要がある。

3 中長期的な重点目標

教育活動 【カリキュラム・ポリシー】	○生徒一人ひとりの成長と未来を見据えた生徒本位の教育 ・学習習慣の確立を通じて社会生活の基盤となる学力の定着・向上を図ります。 ・基本的生活習慣の定着と規範意識を醸成し、社会生活において求められる力、互いを尊重する心、思いやりの心を育む生徒指導に取り組みます。 ○生徒一人ひとりの進路実現に向けたキャリア教育 ・単位制・コース制の特長を生かし、生徒の多様な進路希望を実現するための学びを充実させます。 ・スポーツコースは、3年間を通して体育の専門科目をカリキュラムに取り入れた授業と校外実習等により、運動能力を生かし多様な進路が実現できるようサポートします。 ・普通コースは、各自が希望する授業に分かれてのきめ細かな学習指導と授業選択モデルの設定により、4年制大学・短期大学・専門学校への進学、就職(公務員試験対策含む)など多様な進路希望の実現をサポートします。 ・チャレンジコースは、国公立大学、難関・中堅私立大学等への進路実現に向けた学習指導をします。 ○生徒一人ひとりの自尊感情を高める教育 ・生徒が自分に誇りを持つことができるよう、授業での実践や学校行事、生徒会活動、部活動などを通じて、自己存在感の育成、共感的な人間関係の構築、自己決定の場の提供に取り組みます。
学校運営等	○教科指導力と生徒指導力の向上 ・学習指導要領と観点別評価、高大接続改革、ICT教育への対応に引き続き取り組みます。 ・教員間の授業参観や教科会での授業研究を通じて、教職員の授業力の向上に取り組めます。 ・生徒の生活習慣、規範意識、交通安全意識の定着・向上を図るため、全教職員の組織的な対応により統一した指導の徹底を図ります。

	○地域への情報発信の強化 ・久居高校の教育活動を地域や保護者、関係者に分かりやすく伝えることができるよう広報活動の充実に取り組みます。 ○働きやすい職場・働きがいのある職場づくり ・教職員が互いに協力し、助け支え合うことができる職場づくりに取り組みます。 ・行事や業務の精選・重点化、外部人材の活用など働き方改革を進め、教職員の多忙感を解消し、生徒と向き合う時間の確保に取り組みます。 ・校外で発生した不祥事案を他人事とせず自分の問題として捉えることができるよう、職員会議等の場を通じて共有します。
--	---

4 求める生徒像

入学時に期待される生徒の姿 【アドミッション・ポリシー】	○毎日の授業を大切にできる生徒 ○基本的生活習慣や規範意識が身についている生徒 ○学校行事や部活動、地域活動などに積極的に取り組める生徒
---	---

5 本年度の行動計画と評価

(1)教育活動

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
○生徒一人ひとりの成長と未来を見据えた生徒本位の教育	【1, 2年】 ・授業を大切にする。 ・時間を大切にし、充実した学校生活にする。 (活動指標) ・学年会議を適宜行い、情報共有に努める。 【保健部】 ・基本的生活習慣を大切にする。 (活動指標) - 各学年団、各分掌と連携に努める。 ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、高校生活スペシャルマネージャーとの連携に努める。 ・保健だよりにより健康について啓発する。 ・高校生活スペシャルマネージャーによる職員研修を実施する。	(年度末および適宜記載)	◎ ◎ ◎
○生徒一人ひとりの進路実現に向けたキャリア教育	【3年】 ・個に応じてきめ細かく指導し、進路実現をサポートする。 (取組指標) ・進路指導部との連携に努める。 ・各セミナー指導や個別面談を行う。 ・継続的かつ丁寧に保護者との連携に努める。 (評価指標) ・生徒各自の進路についての満足度が80%以上。		◎

○生徒一人ひとりの自尊感情を高める教育	【進路指導部】 ・多様な進路希望にきめ細かく対応し、進路実現をサポートする。 （活動指標） ・各セミナー別指導で3学年と情報を共有し、生徒の学習を支援する。 ・多くの教員が、課外授業や面接練習等で生徒と関わる。 （評価指標） ・3年生の進路指導の満足度が90%以上。 ・3年生の各セミナー指導の満足度が90%以上。 【人権教育推進担当】 ・人権教育を日常の教育活動としていく。 ・「子どもたちの自己肯定感を涵養する授業づくり支援事業」に基づく教育実践を行う。 （評価指標） ・「人権教育カリキュラム」に基づいた取組推進度の達成率が80%以上。 ・生徒の学習達成度が80%以上。 ・生徒の自己肯定感80%以上。	◎ ◎ ◎
改善課題		
（年度末に記載）		

(2)学校運営等

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
○教科指導力と生徒指導力の向上	【教務部】 ・授業力を向上させ、生徒の学力向上に取り組む。 (活動指標) ・教科会等で生徒の実情を把握・分析する。 ・生徒に目標を設定させ、学習に取り組むよう指導する。 (評価指標) ・教員の授業参観・教科会に平均8回以上参加する。 ・生徒の授業満足度80%以上。 ・ICT機器を有効に活用できた教員が80%以上。	(年度末および適宜記載)	◎

	【生徒指導部】 ・問題行動を抑制し、生徒指導件数を少なくする。 (活動指標) ・生徒会と協働し、生徒が納得するルール作りをサポートする。 (評価指標) ・生徒会との対話を学期に一回以上行う。 ・継続指導の対象生徒に月一回以上声掛けを行う。 ・生徒指導件数が前年比10%減。 ・NG カード指導件数が前年度より減少。		◎
○地域への情報発信の強化	【総務部】 ・久居高校について、地域や中学生に情報提供を行う。 (活動指標) ・ホームページをタイムリーに更新する。 ・Instagramにタイムリーに写真等を公開する。 (評価指標) ・8月のオープンスクールのアンケートで「以前より久居高校に興味を持ったか」について「はい」が90%以上 ・10月のオープンスクールのアンケートで「久居高校を受検したいか」について「はい」が80%以上。 ・久居高校を知るために「ホームページやInstagramを参考にしましたか？」について「はい」が80%以上。		◎
○働きやすい職場・働きがいのある職場づくり	【管理職】 ・過重労働の減少に努める。 ・不祥事を根絶するため職員への啓発に努める。 (活動指標) ・ICTを活用し業務の効率化に努める。 ・「信頼される学校であるための行動計画」に則った活動・点検を行う。 (評価指標) ・部活動休養日を週1回(試合がある場合は翌週)設定できた部活動の割合が100%。 ・年360時間を超える時間外労働者の延べ人数が0人。 ・月45時間を超える時間外労働者の延べ人数が0人。 ・時間外在校時間が月平均30時間以内。 ・定時退校日(月二回)に定時退校できた職員が80%以上。 ・休暇取得24日以上、うち年休取得14日以		◎ ◎ ※

	上。 ・放課後に開催された会議のうち60分以内に終了したものが100%。 ・「信頼される学校であるための行動計画」の自己評価で「できた」と答えた職員が100%。		
改善課題			
(年度末に記載)			

6 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	(年度末に記載)
---------------------	----------

7 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	(年度末に記載)
学校運営についての改善策	(年度末に記載)